



しあわせ

第119号

清水地区住民福祉協議会
山北町川西688
0465(77)2404

清水地区住民福祉協議会では、毎年行っている敬老表彰を、9月14日(土)にそれぞれのご家庭を訪問し、お祝いしました。

“敬老表彰でのご家庭を訪問”

人生の幾山河を確かな歩みで

今年度は、米寿(88歳)の方が7名、金婚(結婚50年)の方が1組、いらつしやいました。
また今年度前半期(9月以前)は1名の出生があり、同じ日に訪問しお祝いしました。



今年度も会長・副会長・広報の3名でお伺いしました。お忙しいなか訪問を受ける時間を作っていただきありがとうございます。
みなさまが末永くご健康で過ごされますよう心からお祈り申しあげます。

▼2〜3面⇨写真

まだまだ、これからも

今年のご夫婦そろって米寿を迎えられた方がいらつしやいました。同じ時間を歩み続けて、めでたい節目を共に迎えた喜びが感じられました。
身体が思うようには動かない：なんて言いながらも、まだまだお元気そうで、あちこち飛び回っているという方もおられました。

表彰を受けられた皆様

(敬称略 順不同)



米寿 (八十八歳)

- 高橋 敏 (神縄)
- 山崎 悟 (宮原)
- 山崎米子 (宮原)
- 藪田八千代 (嵐)
- 大胡田昭子 (峰下)
- 矢吹 浩 (谷ヶ)
- 勝又威夫 (谷ヶ)

金婚 (結婚五十年)

- 荻野和昭 (畑沢)
- 信子

出生祝

- 池田 晴道 (峰下)
- 〔雄介・綾野〕



山崎米子さん(宮原)
山崎悟さん(宮原)

一日いちにちを
大事に積み重ねて

米寿



大胡田昭子さん(峰下)



藪田八千代さん(嵐)



勝又威夫さん(谷ヶ)



矢吹浩さん(谷ヶ)



表彰者のみなさん おめでとうございます

当日はそろそろ稲刈りの時期だということにもかかわらず、9月であることを忘れてしまうほどの残暑でした。朝の涼しい内に作業を済ませて一風呂浴びたと言う方も、お伺いした時には汗びしょヨリでした。

今年も大変な暑さだったと思いますが、どなたも水分補給やエアコンの適宜使用など体調管理はしっかりされているようで、みなさんお元気そうで何よりでした。

残暑なんかには 負けられない

高橋 敏さん (神縄)



荻野和昭さん
信子さん (畑沢)

数年前の台風の時、自宅の前の沢が溢れて道路や茶畑・農機具小屋に土砂が流れ込んで来たそうです。復旧について行政に掛け合ってみたものの埒が明かなくて、結局自分で土砂をかき出して、畑と小屋を元どおりにしたのだと話してくれました。

そう話している様子を、3匹の猫がのんびりと、小屋の脇から眺めていました。

大変なことも ふたりに乗り越えて

金婚



出生祝い



名前の由来を聞いてみるとお兄ちゃんの颯一郎くんから「はっちゃん」と呼びたい、とリクエストがあり、そこから春に生まれたことや音の響きなどを踏まえて「晴道」と名付けたんだそうです。

その名の通り、まわりにいるご家族の晴れやかな顔が印象的でした。

はじめまして！ 健やかなる成長を



はるみち
池田 晴道 ちゃん (峰下)
(父 雄介さん・母 綾野さん)
第2子 (男の子) 3月生まれ

地域を思う芽を繋がり育てる

既にご存知の方もいるかもしれませんが、道の駅山北に「山大フーズ」「シェフの逸品ビーフカレー」と「かぼちゃポタージュ」が出品されています。その生産者である尾崎キクエさんから聞いたお話を紹介します。



皆さんにも、困っている時になぜかタイミング良く次から次へと救いの手が現れる、そんな不思議な経験はありませんか。きっかけは竹林が荒れて困っていた時、ふとしたことで共和の方と知り合い、相談したことです。そこから今度はその共和の方の知り合いに、地域活性化など社会貢献に熱心な山大商事の社長がいて、ここでもまた新たな繋がりができました。その方から自社のカレーに使うジャガイモを納入してもらえないかということになりました。実際の畑を見に来た折、こんな野菜も作っているよと渡したのがかぼちやの『雪化粧』。これは、持て余していた茶畑をこいだはいいものの、せっかく米糠農法で育てた良い土がもつたいない、と生まれ変わった畑で育てた物。このかぼちやが商品開発のシェフの「舌」にとまり、是非これも何か形にしましょうとあれこれ試した結果、このかぼちやの味が一番活き



「雪化粧」かぼちやのポタージュと、清水産ポタージュを使用したビーフカレー

るのはスープだ、とその一流シェフからも折り紙付きの商品になりました。さて、出来たのはいいけどどうしようか、と元々かぼちやを販売していた道の駅に相談したところ、このポタージュとカレーを置いてもらえることになったのです。かぼちやの味をしつかりと感じるポタージュと、ごろごろジャガイモの存在感が嬉しいビーフカレー。生産者の顔を良く知っている事もいいスパイスになっています。道の駅に来るお客さんの声にもあったという「地元産の商品が欲しい」。そこに対する思いを持つ、様々な立場の人たちが繋がることで生まれたこれらの商品。尾崎さんの話からは、今後スマートインターチェンジが開通する中、観光客はもちろん地元の人たちの刺激になればいいなという思いが強く伝わってきました。

「モルック」つておもしろい!

以前募集したモルック体験会ですが、無事9月22日(日)に開催できました。ただ、お彼岸・稲刈りなどお忙しい時期と重なってしまったこともあり、12名ほどの参加となりましたが、皆さん積極的に楽しまれて大変盛り上がりました。

次はいつ?との言葉もあったので、またあらためて機会を設けたいと思っています。清水地区 スポーツ推進委員

清水地区・町 これからの主な行事予定

12月8日	人権講演会
1月5日	賀詞交歓会
1月15日	ライブ・イン・山北2024
2月6日	賀詞交歓会
2月12日	消防出初式
2月20日	二十歳を祝う会
2月26日	生涯学習センター
2月27日	フェスティバル
2月28日	山北町社会福祉大会
3月14日	岸幼稚園 卒園式
3月15日	やまきたこども園 卒園式
3月21日	川村小学校 卒業式
3月21日	清水地区 お茶のみ会
3月中旬	山北中学校 卒業式
3月下旬	やまきた桜まつり
4月1日	しあわせ120号 発行

編集後記

119号の「しあわせ」をお届けします。先日、FAXでのお知らせがあった町商工会青年部・角原さんの全国大会の練習を見ました。ニュースを知ってから、どんな主張なんだろう、とずっと気になっていたもので、渡りに舟とはこの事。湖面へ漕ぎ出すように始まり、起業の契機や今までの経験、商工会からの助力の事などを理路整然と、時に臨場感たっぷり、情熱を込めて語りました。最後に一礼すると聴衆からは割れんばかりの拍手。発表を聴いて声が出なかったのは、息を呑んだからか感じ入ったからか興奮したからか。いや『追い求めた先にある景色』への期待からかも。(T)